

## 第8回理科自主研修「佐鳴湖の魚」 実施報告

1 日時 平成30年8月16日(木) 午前8時30分～10時00分

2 場所 佐鳴湖 入野漁協前

3 内容 「佐鳴湖の魚」の理論と簡単な装置作りについて

前回まで魚の飼育と植物栽培を同時に行う「アクアポニックス」について研修してきました。現在、浜松市の中で、神久呂中、佐鳴台中、八幡中、曳馬中、高台中、積志中、江南中、南部中、静大附属浜松中が取り組んでいます。今回、魚の飼育に関連して、「佐鳴湖がこんなに豊かであることを、湖の中が見える漁師」、入野漁業協同組合理事兼事務局長杉山恵子(すぎやま・けいこ)さんからお話しを伺い、実際に魚調査も行います。

4 参加 理科教員3名、市民5名 合計8名

佐鳴湖の魚を調べる会に行ってきました。杉山さんのご厚意により船にのせていただきました。



魚調査の後、杉山さんおすすめスポットでエビすくい。杉山さんに感謝です。

※ 魚を採るには、漁協の許可が必要です。今回は、漁協の許可を得ての調査です。

ハクレン ウナギ コノシロ セイゴ アカミミガメ フェフキダイ ハゼがこの日観察されました。

杉山さんによると、コイやフナ、ボラの子供とかハゼもいます。たまに浜名湖を通じて、アカエイやタツノオトシゴ、クルマエビが入ってきたりすることもあります。佐鳴湖にはだいたい50種類ぐらいの魚が生息しているそうです。